

してビジネスモデルの変革を後押しするのが、オープンイノベーション促進税制です。

そして、もう一つの重点施策が5G投資促進税制の創設です。全国ネットワーク網の整備に加えて、ローカル5G、例えばローカルエリアや工場内を完全自動化・AI化していくことに活用していきます。5Gにより生産性は圧倒的に向上しますが、サイバーセキュリティ上のリスクなどがあり、安全面も考慮した制度にしてあります。

5Gではファーウェイなどの中国企業に一步先を行かれており、今後、日本企業がアドバンテージを持てるように研究開発補助金をはじめ多方面から支援していきます。そのファーウェイは創業以来、何が何でも売り上げの1割をR&Dに回してきたそうです。売上高は10兆円を超えているので、毎年1兆円もの研究開発費を注ぎ込んでいることとなります。

そういう企業と戦っていくわけですから、経営者の皆さんには、私どもと危機感を共有していただき、それなりの覚悟を持ちリスクを取って経営に臨んでいただきたいと思います。「発出せよ第二創業」、「出でよ中興の祖」——。このような覚悟を持ったトップが何人出てくるのかが、日本のこれからの行方を左右します。以上のような意識の下、今後も税制や予算を取りまとめていく決意です。



日本自動車会議所は2月18日、東京・港区の日本自動車会館「くるまプラザ」会議室で、2019年度第2回経済・産業委員会（委員長＝平井敏文・日本自動車販売協会連合会副会長・専務理事）を開催した。委員会では、まず経済産業省製造産業局自動車課の神田啓史総括課長補佐が「経済産業省の来年度自動車関係予算案」と、次世代自動車に関する情報共有のため、「電動車活用社会推進協議会の検討状況」について説明。続いて日本水素ステーションネットワーク合同会社（JHyM）の菅原英喜社長が「燃料電池自動車普及に向けた水素ステーション整備の加速」と題して講演した。この後、日本自動車工業会東京モーターショー室の鈴木庸弘室長が「東京モーターショー2019」を総括し、委員会は終了した。

（委員会の概要については次号で紹介予定）

新型コロナウイルス感染拡大防止を踏まえ イベントや会議等の延期・中止を決定

日本自動車会議所

日本自動車会議所は、国内における最近の新型コロナウイルス感染の発生状況を勘案し、感染拡大の防止という観点から、イベントや会議等の延期・中

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた対応状況

2020年3月9日現在

主なイベント・会議等	当初開催予定日	対応状況
第265回会員研修会 テーマ：人口減が地域を強くする ～持続可能な社会構築へモビリティの役割～ 講師：(株)日本総合研究所 調査部上席主任研究員 藤波 匠氏	2月27日	延期 (7月以降の開催で調整)
第81回運営委員会 議題：第206回理事会への上程議案 ①2020年度事業計画 ②2020年度予算 ③評議員委嘱	2月28日	書面審議
第206回理事会 議題：①2020年度事業計画 ②2020年度予算 ③評議員委嘱	3月6日	書面審議
2019年度永年勤続者表彰式 場所：日本自動車会館1階「くるまプラザ」会議室 受彰者：全国自動車会議所5団体の12人	3月6日	延期 (5月以降の開催で調整)
「交通安全。アクション2020 新宿」 場所：新宿駅西口広場イベントコーナー（東京・新宿区） 主催：(一社)日本自動車会議所、警視庁新宿警察署	4月4日、5日	中止 (年内開催可能か調整)